

ではクリニカルクラークシップ（臨床参加型）が世界標準化してきている。この方法は、学生を医療スタッフの一員に位置付けるため、必然的に医療現場における医療スタッフの密度と患者との接触時間とを増大させる。ところが今回のコロナ禍では、医療スタッフ密度と患者との接触時間の最小化最短化が至上命題となった。このため、一時的ではあれ、臨床実習体制は制限を余儀なくされた。

臨床実習体制の再構築に向けて、実習シミュレーターとヴァーチャルシステムをいかに活用すればよいのか。また、それらが十全に機能したとして、残るものは何なのか。臨床実習の本質と課題について議論を深めたい。

実施日時・令和二年十一月二十三日（月）  
祝）午後一時三十分から五時まで

実施内容…

- 司 会 熊本大学大学院生命科学研究所 教授 尾池 雄一氏
  - 熊本大学大学院生命科学研究所 教授 中村 公俊氏
- 演題及び演者については、選考中です。（五〜六名）
- 参加募集対象者

医学・医療技術関連の大学や専修学校における教育・運営など

の担当者、各医療技術専門家協会の後継者育成担当者、医療・保健行政担当者、一般の希望者  
なお、開催後約一月後に熊本日日新聞紙面に内容を掲載する予定です。また、本財団ホームページにも掲載いたします。

**令和二年度医学研究会・研修会等への助成を行う**

令和二年度は、次の四件の学会、研究会、研修会等に助成が決定しています。  
・熊大病院群卒後臨床研修プログラム研修医育成事業

- 四月一日〜三月三十一日
- 第二十回熊本大学医学部医学科医学教育ワークショップ 十一月中
- 第二十一回熊本エイズセミナー 十一月十一日〜十二日

**令和二年度（第二十五回）肥後医育振興会医学研究助成を行う**

令和二年度（第二十五回）肥後医育振興会医学研究助成金の公募が例年どおり行われました。

今後、熊本大学大学院生命科学研究所（医学基礎系、医学臨床系、保健学系、

薬学系）熊本大学生命資源研究・支援センター、熊本県医師会及び済生会熊本病院から推薦を受け、七名による選考委員会を立ち上げることとしております。

選考委員会による授与候補者の選考後、理事長に推薦し、常任理事会において承認することとなっております。

本年度の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究所及び医学教育部から六名、熊本大病院から一〇名、ヒトレトロウイルス学共同研究センターから三名、熊本市病院から一名の計二〇名であり、その中から四名を授与候補者として選考する予定です。

なお、受賞者には、それぞれに十五万円を贈呈し、併せて「肥後医育振興会学術奨励賞」という賞を付与し表彰することとなっております。

**令和二年度（第二十四回）肥後医育振興会外国人留学生奨学助成を行う**

令和二年度（第二十四回）肥後医育振興会外国人留学生奨学助成金の公募が例年どおり行われました。

今後、外国人留学生奨学金授与候補者の選考も、医学研究助成金授与候補者の

選考に併せて行われる予定です。  
本年度は、熊本大学大学院医学教育部から四名の応募があり、その中から最高四名を授与候補者として選考する予定です。

なお、受賞者には、それぞれに十五万円を贈呈し、併せて「肥後医育振興会優秀留学生表彰」という賞を付与し表彰することとなっております。

